

平成30年度事業報告書

平成30年04月01日から31年03月31日まで

特定非営利活動法人夢の樹オホーツク

1 事業の成果

2018(平成30)年度は、過去4年間の事業計画を引き継ぎ、夢の樹オホーツクの将来あるべき姿を見据え、法人の体力作りやスタッフのスキルアップを主眼とした事業を行なうとし、月次の常勤スタッフ会議や全スタッフミーティング等をおし、虐待防止や法人の理念研修等、内部研修を重ね、スタッフ間の情報を共有してきました。今年度もまた、スタッフの入れ替わりがあり、人材の確保には苦勞しましたが、居宅6人(前年比-1人、5~6月で2人増の予定)、就労9人(前年比+2人)、相談支援と事務局各1人の合計17人一丸となって支援実績を重ねることができました。事業全般では堅調を維持しましたが、課題であった男性スタッフの補充、業務拡大のための支援員の補充がままならず、緊急の課題であります。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
学童保育		—	—	—	—	—
子育て支援		—	—	—	—	—
生活支援	・障がい者(児)、高齢者、保護者等に対する生活支援	通年	網走市	60人	障がい者60人	0
研修・講習会	・保険・医療又は福祉の増進を図り、多様化するニーズに対応する人材育成のための研修・講習会等 ・男女平等参画社会の形成及びジェンダーフリーに基づいた研修・講習会等	毎月1回	本部	17人	保護者・スタッフ約90人	21
助け合い社会推進	・地域通貨による助け合い社会推進	通年	管内	120人	障がい者240人	928
まち育て推進	・ジェンダーフリーとユニバーサルデザインに基づいたまち育て推進	—	—	—	—	—
生活支援情報提供	・特定非営利活動法人や市民活動に参加している人のための、生活支援情報提供	—	—	—	—	—
障害者総合福祉法に基づく事業	・居宅介護	通年	管内	786人	障がい者786人	2,821
	・重度訪問介護	—	—	—	—	0
	・行動援護	通年	管内	649人	障がい者649人	7,681
	・共同生活援助	—	—	—	—	0
	・共同生活介護	—	—	—	—	0
	・生活介護	土・日祝を除く通期	網走市	1,320人	障がい者1,320人	7,855
	・児童デイサービス	—	—	—	—	0
・短期入所	—	—	—	—	0	
・就労移行支援	—	—	—	—	0	
・就労継続支援A型	—	—	—	—	0	

<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援B型 ・自立訓練(生活訓練) ・自立訓練(機能訓練) ・相談支援 ・移動支援 ・日中一時支援 ・地域活動支援センター 	土・日祝を 除く通期	網走市	1,768人	障がい者1,768人	9,900
	—	—	—	—	0
	—	—	—	—	0
	火・日を 除く通期	管内	584人	障がい者584人	4,000
	通年	管内	1,421人	障がい者1,421人	10,751
	通年	本部	1,162人	障がい者1,162人	2,964
	—	—	—	—	0

(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施 月日	実施 場所	従事者の 人数	支出額 (千円)
収益事業	・物品のあっせん及び販売	—	—	—	—
	・役務の提供	—	—	—	—

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 3 2の(1)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 4 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載する。
- 5 2の(2)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載する。定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなかった場合も「実施しなかった」旨を記載する。
- 6 事業内容及び支出額は、収支計算書の事業費の科目及び支出額との整合性を図る。